

ROPE HOOKING METAL FITTING

Publication number: JP3003883 (A)

Publication date: 1991-01-09

Inventor(s): NAKAMURA KAZUKATSU; HONDA TAKENOBU +

Applicant(s): MITSUBISHI ELECTRIC CORP +

Classification:


- **international:** *B66B7/06; B66B7/08; F16G11/00; B66B7/06; F16G11/00;* (IPC1-7): B66B7/06; F16G11/00

- **European:**

Application number: JP19890137383 19890601

Priority number(s): JP19890137383 19890601

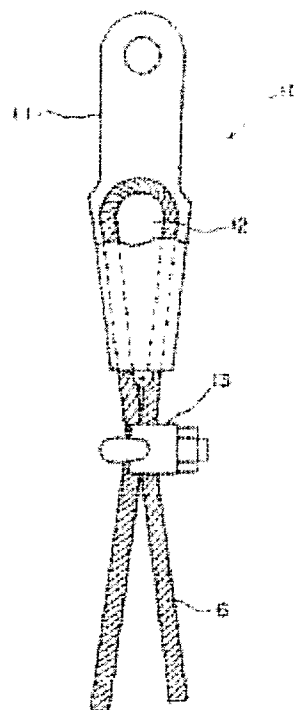
Also published as:

 JP8029906 (B)

Abstract of JP 3003883 (A)

PURPOSE:To realize cost cut by reducing the time for the terminal processing by turning back the edge part of a rope inserted into a socket at a turn-back part and fixing a rope pulled out outside the socket onto a rope on the socket insertion side by a clip.

CONSTITUTION:A hooking metal fitting 10 is constituted so that a wedge 12 is formed on a socket 11, and a rope 6 is inserted into the socket 11 is turned back on the wedge 12, and two ropes 6 are binding-hooked by a clip 13 at the lower part of the socket 11. With this constitution, the used number of the rope hooking metal fittings 10 is reduced, and the cost cut in the installation construction and repair construction of an elevator, etc. can be achieved drastically by reducing the labor and time in the terminal processing of the rope 6.



Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平3-3883

⑤ Int. Cl.⁵

B 66 B 7/06
F 16 G 11/00

識別記号

F
S

庁内整理番号

6862-3F
7053-3J

④ 公開 平成3年(1991)1月9日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

⑭ 発明の名称 ロープ留金具

⑰ 特 願 平1-137383

⑱ 出 願 平1(1989)6月1日

⑲ 発 明 者	中 村 和 且	愛知県稲沢市菱町1番地 三菱電機株式会社稲沢製作所内
⑲ 発 明 者	本 田 武 信	愛知県稲沢市菱町1番地 三菱電機株式会社稲沢製作所内
⑲ 出 願 人	三菱電機株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目2番3号
⑲ 代 理 人	弁理士 佐々木 宗治	外2名

明 細 書

1. 発明の名称

ロープ留金具

2. 特許請求の範囲

(1) エレベータ等を使用されるロープ留金具において、

該留金具のソケット内にロープの折返し部を形成するとともに、2個のロープを固着するためのクリップを備え、

ソケット内に挿入されたロープの端部を上記折返し部で折返し、ソケット外へ引き出したロープをソケット入り側のロープに上記クリップにより固着するように構成した

ことを特徴とするロープ留金具。

(2) 上記クリップが曲面部材を備え、該部材の曲面をロープに当接させてロープを固着するように構成されている

ことを特徴とする請求項(1)に記載のロープ留金具。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は昇降装置などのロープの留金具の改良に関するものである。

[従来の技術]

第4図は建物や建設現場におけるエレベータの構成図で、図中1はかご、2は巻上げ機、3はそらせ車、4は釣合い錘、5は釣合い車、6はロープ、7はロープ留金具である。図はロープ6は1個だけしか記載していないが、実際には複数個使用されている。第5図は上記ロープ留金具を示す斜視図で、ロープ6の一端はソケット7にバビットメタル8により固着されている。

[発明が解決しようとする課題]

上記のようにロープはその一端をロープ留金具のソケット7に固着しているので、ロープ留金具はロープの数だけ必要となり、コストアップを招くだけでなく、バビットメタルを使用して行う端末処理に手間と時間を要し、エレベータの据付や修理の際の問題となっている。

本発明は従来装置の上記問題点を解消するため

になされたもので、コストダウンに寄与し、端末処理の時間を軽減するロープ留金具を提供しようとするものである。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するため、本発明に係るロープ留金具においては、ソケット内部にロープ折返し部を形成し、ソケットに挿入したロープの端部を上記折返し部で折返し、シーブを通して他のロープ留金具に固着するようにした。

〔作用〕

上記手段をとることにより、ロープ留金具を2個使用していたのを1個ですむこととなり、その分コストダウンが計れるとともに、ロープの端末処理の時間と手間が少なくですむこととなる。

〔発明の実施例〕

第1図は本発明の一実施例を示すロープ留金具の一部断面図で、6はロープ、10は本発明に係るロープ留金具、11はソケット、12はウエッジ、13はクリップである。図にみるように、本発明に係る留金具10は、ソケット11にウエ

ジ12を形成し、ソケット11に挿入したロープ6はウエッジ12で折返され、ソケット11の下部でクリップ13で2個のロープを束ね留めるように構成されている。

第2図は上記ロープ留金具10の使用状況を示すものである。図にみるようにロープ留金具10によりロープ6を折返して使用するので、従来2個の留金具を必要とするところが1個ですむようになった。

なお第3図はロープ留金具10の他の実施例を示すもので、クリップ13がロープ径以上の幅を有する広い曲面を有する曲面部材14を備え、該曲面部材14の曲面でロープ6を挿圧するように構成されている。この結果ロープ6の変形を防ぎ、その疲労強度の低下を防止することとなる。

〔発明の効果〕

本発明はエレベータ等のロープ留金具のソケット内にウエッジを形成し、ソケットに挿入したロープの端部を上記ウエッジで折返し、シーブを経て他の留金具に固着するように構成したので、ロ

— 3 —

ープ留金具の使用個数を減らし、ロープの端末処理の時間と手間とを低減させることにより、エレベータ等の据付や修理工事のコストダウンに大きく寄与することとなった。

4. 図面の簡単な説明

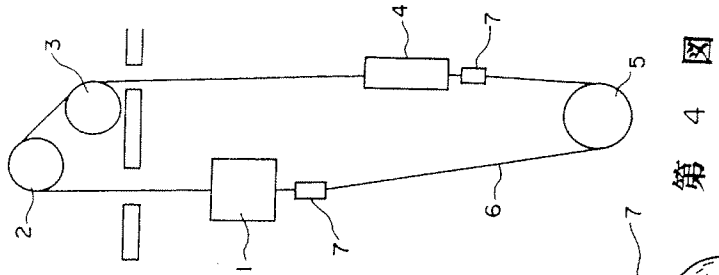
第1図は本発明の一実施例であるロープ留金具の一部断面図、第2図はその使用状況を示す構成図、第3図は他の実施例を示すロープ留金具の一部断面図、第4図は従来のエレベータの構成図、第5図は従来の留金具の一部断面図である。

図中6はロープ、10はロープ留金具、11はソケット、12はウエッジ、13はクリップ、14は曲面部材である。

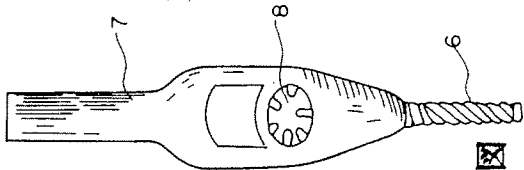
なお図中の同一符号は同一または相当部品を示すものとする。

代理人 弁理士 佐々木宗治

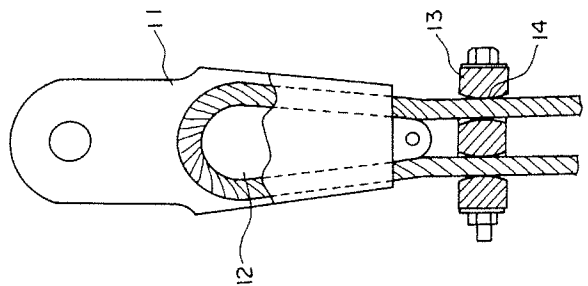
— 4 —



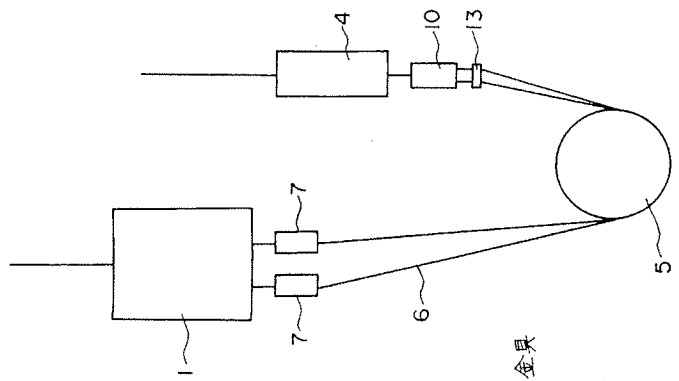
第 4 図



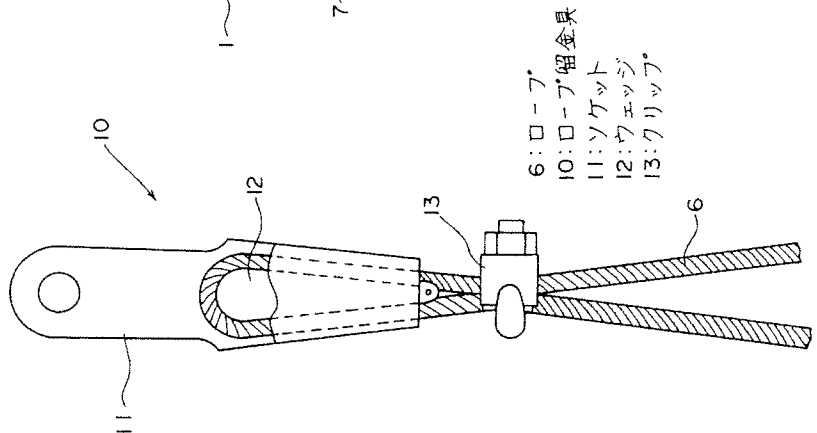
第 5 図



第 3 図



第 2 図



第 1 図

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成6年(1994)11月29日

【公開番号】特開平3-3883

【公開日】平成3年(1991)1月9日

【年通号数】公開特許公報3-39

【出願番号】特願平1-137383

【国際特許分類第5版】

B66B 7/06 F 9243-3F

F16G 11/00 S 8508-3J

手続補正書 (自発)

平成 5年 3月30日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

特願平1-137383号

2. 発明の名称

ロープ留金具

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名称 (601) 三菱電機株式会社

4. 代理人

住所 東京都港区虎ノ門一丁目19番10号
第6セントラルビル
電話 東京(03)3580-1936 (代表)

氏名 (6127) 弁理士 佐々木 宗 治

5. 補正の対象

明細書の「特許請求の範囲」の欄。

6. 補正の内容

特許請求の範囲を別紙のとおり補正する。

特許請求の範囲 (補正後)

一端側から挿入されたロープの一端部をロープ折返し部で略U字状に折り返して上記一端側から導出するソケットと、該ソケットの近傍に設けられ該ソケットから導出した2本の上記ロープを凸状曲面で挟持するクリップとを具備することを特徴とするロープ留金具。